

マンAHLスマート・ レバレッジ戦略ファンド (愛称：スマレバ)

運用報告書(全体版) 第7期

(決算日 2023年4月12日)

(作成対象期間 2022年10月13日～2023年4月12日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2019年11月12日～2024年10月11日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. アイルランド籍の外国投資法人「マン・ファンズVI・ピーエルシー」が発行する「マン・エーエイチエル・アクティブ・バランスド(円ヘッジ・クラス)」の投資証券(円建) ロ. ダイワ・マネープール・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネープール・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界各国の株価指数先物、債券先物等に投資を行ない、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	投資証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税金分配金	期騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
3期末(2021年4月12日)	10,603	0	3.6	—	99.8	123,392
4期末(2021年10月12日)	10,861	0	2.4	—	99.7	79,762
5期末(2022年4月12日)	9,967	0	△ 8.2	—	98.9	60,821
6期末(2022年10月12日)	8,609	0	△ 13.6	—	99.2	46,236
7期末(2023年4月12日)	9,084	0	5.5	—	99.4	44,278

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

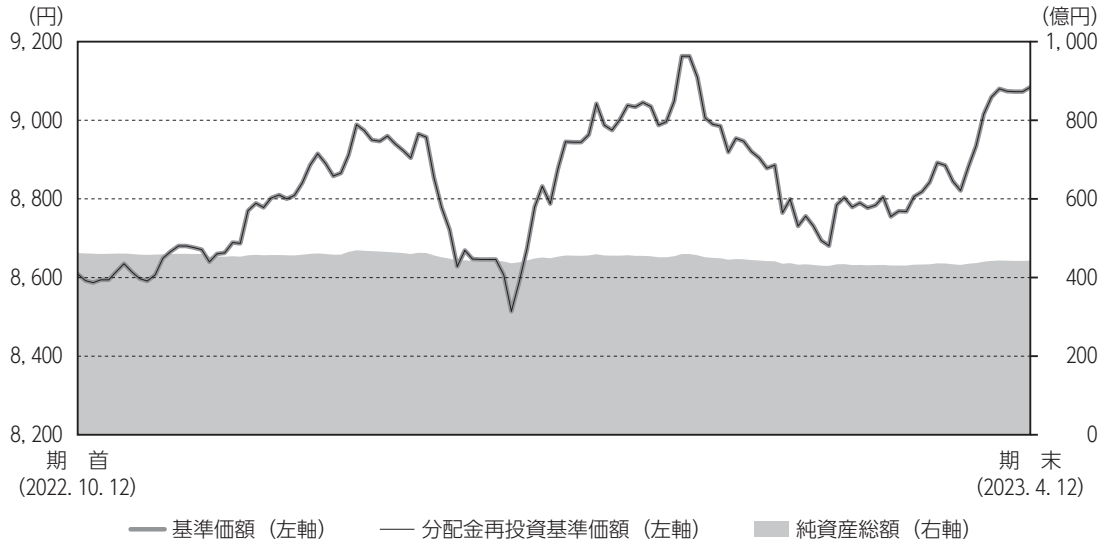
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当学期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：8,609円

期末：9,084円（分配金0円）

騰落率：5.5%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

世界各国の株価指数先物、債券先物等に投資を行い、ファンドのエクスポージャーを機動的に調整した結果、株式と債券がともにプラス寄与となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

マンAHLスマート・レバレッジ戦略ファンド

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		公 社 債 率 組 入 比	投 資 証 券 率 組 入 比
		円	%		
(期首)2022年10月12日	8,609	—	%	—	99.2
10月末	8,680	0.8		—	99.3
11月末	8,858	2.9		—	99.3
12月末	8,607	△ 0.0		—	99.2
2023年 1 月末	9,035	4.9		—	99.2
2 月末	8,731	1.4		—	98.9
3 月末	8,882	3.2		—	98.9
(期末)2023年 4 月12日	9,084	5.5		—	99.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 10. 13 ~ 2023. 4. 12)

株式市況

世界の株式市況は上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首から2022年11月末にかけて、英国市場での財政問題をめぐる混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しました。その後年末にかけては、世界的に景況感や企業業績の悪化が懸念されて下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の伸びが鈍化しF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースの減速が期待されたことなどから再び上昇に転じましたが、2月から3月半ばにかけては、予想を上回る米国の経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国の地方銀行の経営破綻および欧州金融機関の経営危機を受けた信用不安の高まりにより下落しました。当作成期末にかけては、F R Bによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことや金利が急低下したことなどが好感され、成長株を中心に上昇しました。

債券市況

主要先進国の金利は、おおむね低下（債券価格は上昇）しました。

主要先進国では、当作成期首より、英国で大規模な財政政策が発表され同国の金利が急上昇したことなどを背景に、金利は上昇基調で始まりました。2022年11月には、米国のC P I（消費者物価指数）が予想を下振れたことで長期のインフレ期待が低下したことや、世界的な景気減速懸念が高まったことなどから、金利は低下しました。12月は、F R B（米国連邦準備制度理事会）が2023年末の政策金利見通しを上方修正したことや日銀が想定外の政策修正を行ったことで、世界的な金融引き締めが意識され、金利は上昇しました。2023年1月は、米国の雇用統計において賃金の伸びが予想を下回ったことや、物価指数においてインフレ鈍化傾向が確認されたことなどが金利低下材料となり、金利は低下しました。2月には、労働市場をはじめ発表された米国の経済指標が軒並み強い結果となり、さらなる金融引き締め観測が織り込まれたことで金利は上昇に転じ、1月の金利低下が巻き戻される格好となりました。3月以降は、米国の地方銀行の経営破綻に端を発する信用不安が広がり、将来の利下げ織り込みが加速したことや、欧州金融機関の経営危機を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、金利は大きく低下しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）およびダイワ・マネープール・マザーファンドに投資し、アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持します。

※アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）：マン・エーエイチエル・アクティブ・バランスド（円ヘッジ・クラス）

■アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界各国の株価指数先物、債券先物等に投資を行い、信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。運用においては、システムチック・アルゴリズムを利用したポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させつつ、目標ボラティリティ水準を維持するよう努めます。また、為替変動リスクを抑制するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネープール・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2022. 10. 13 ~ 2023. 4. 12)

■当ファンド

当ファンドは、「アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）」および「ダイワ・マネープール・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通じて、「アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

■アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界各国の株価指数先物、債券先物等に投資を行い、信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。運用においては、システムチック・アルゴリズムを利用したポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させつつ、目標ボラティリティ水準を維持するよう努めました。また、為替変動リスクを抑制するため、為替ヘッジを行いました。

ファンドのエクスポージャーについては、高水準の市場ボラティリティを背景におおむね抑制的な水準を維持しました。株式と債券の同時下落の予兆に着目する自動ブレーキ機能（H E A V Yモデル）は、2022年11月の月中に解除されて以降、発動しませんでした。各市場の下落トレンドを検知する自動ブレーキ機能（モメンタムシグナル）も当作成期の後半にかけてほぼ発動を停止しました。

■ダイワ・マネープール・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮して、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2022年10月13日 ～2023年4月12日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	819

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、「アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）」および「ダイワ・マネープール・マザーファンド」に投資し、「アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持します。

■アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界各国の株価指数先物、債券先物等に投資を行い、信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。運用においては、システムチック・アルゴリズムを利用したポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させつつ、目標ボラティリティ水準を維持するよう努めます。また、為替変動リスクを抑制するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネープール・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 10. 13～2023. 4. 12)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	36円	0.412%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,833円です。
(投 信 会 社)	(12)	(0.130)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(24)	(0.268)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.002	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	37	0.414	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

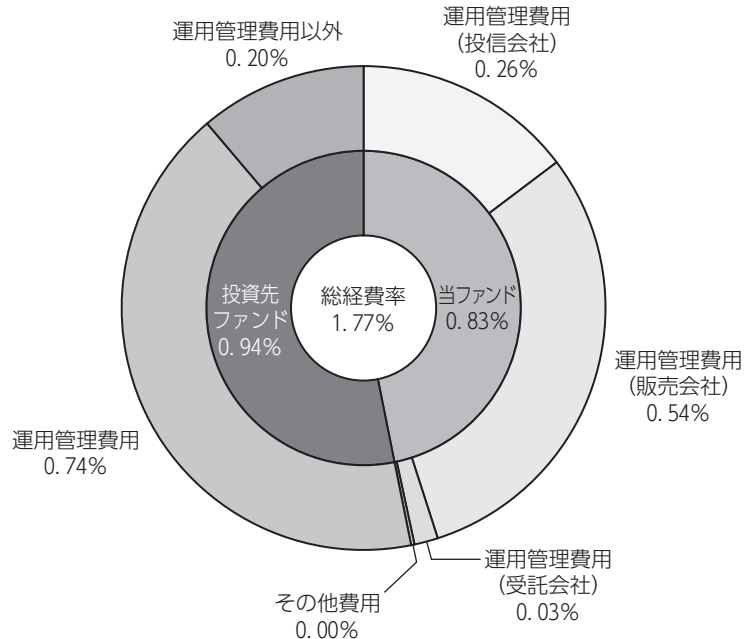
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



総経費率 (① + ② + ③)	1.77%
①当ファンドの費用の比率	0.83%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.20%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資証券

(2022年10月13日から2023年4月12日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	(—)	(—)	(398.597196)	(4,430,000)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2022年10月13日から2023年4月12日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネープール・マザーファンド	50	50	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資証券

(2022年10月13日から2023年4月12日まで)

買 付	当 期			平均単価	売 付	当 期			平均単価
	銘 柄	口 数	金 額			銘 柄	口 数	金 額	
		千口	千円	円		千口	千円	円	
					MAN AHL ACTIVE BALANCED I H JPY SHARES (アイルランド)	398.597196	4,430,000	11,113	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資証券 (アイルランド) MAN AHL ACTIVE BALANCED I H JPY SHARES	3,829.830351	44,026,389	99.4

(注1) 比率欄は純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネープール・マザーファンド	1,000	1,050	1,038

(注) 単位未満は切捨て。

マンAHLスマート・レバレッジ戦略ファンド

■投資信託財産の構成

2023年4月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	44,026,389	99.0
ダイワ・マネープール・マザーファンド	1,038	0.0
コール・ローン等、その他	437,509	1.0
投資信託財産総額	44,464,937	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年4月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	44,734,937,135円
コール・ローン等	437,509,412
投資証券 (評価額)	44,026,389,274
ダイワ・マネープール・マザーファンド (評価額)	1,038,449
未収入金	270,000,000
(B) 負債	456,359,901
未払金	270,000,000
未払信託報酬	185,233,089
その他未払費用	1,126,812
(C) 純資産総額 (A - B)	44,278,577,234
元本	48,742,690,769
次期繰越損益金	△ 4,464,113,535
(D) 受益権総口数	48,742,690,769口
1万口当り基準価額 (C/D)	9,084円

* 期首における元本額は53,706,818,274円、当作成期間中における追加設定元本額は1,049,539,068円、同解約元本額は6,013,666,573円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,084円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,464,113,535円です。

■損益の状況

当期 自 2022年10月13日 至 2023年4月12日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 198,295円
受取利息	13,999
支払利息	△ 212,294
(B) 有価証券売買損益	2,479,424,726
売買益	2,603,506,891
売買損	△ 124,082,165
(C) 信託報酬等	△ 186,359,901
(D) 当期損益金 (A + B + C)	2,292,866,530
(E) 前期繰越損益金	△ 8,216,081,532
(F) 追加信託差損益金	1,459,101,467
(配当等相当額)	(404,165,076)
(売買損益相当額)	(1,054,936,391)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 4,464,113,535
次期繰越損益金 (G)	△ 4,464,113,535
追加信託差損益金	1,459,101,467
(配当等相当額)	(404,165,076)
(売買損益相当額)	(1,054,936,391)
分配準備積立金	2,533,073,639
繰越損益金	△ 8,456,288,641

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,459,101,467
(d) 分配準備積立金	2,533,073,639
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,992,175,106
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,992,175,106
(h) 受益権総口数	48,742,690,769口

アクティブ・バランス・ファンド (円ヘッジ・クラス)

当ファンド（マンAHLスマート・レバレッジ戦略ファンド）はアイルランド籍の外国投資法人「マン・ファンズVI・ピーエルシー」が発行する「マン・エーエイチエル・アクティブ・バランスド（円ヘッジ・クラス）」の投資証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

貸借対照表
2021年12月31日

	(US\$)
資産	
現金および現金同等物	549,451,025
ブローカー預託金	1,790,000
金融資産（損益通算後の評価額）：	
利付証券	364,791,015
デリバティブ	21,800,852
未収利息	388
その他資産	346,915
資産合計	938,180,195
負債	
当座借越	1,823,764
ブローカー預託借越	1,501,231
金融負債（損益通算後の評価額）：	
デリバティブ	12,580,470
未払運用報酬	598,013
その他未払費用、負債	921,997
負債合計（投資証券保有者に帰属する純資産を除く）	17,425,475
投資証券保有者に帰属する純資産	920,754,720

損益計算書

2021年12月31日に終了した年度

(US\$)

収益

損益通算後の金融資産・負債の増減額

(36,386,177)

(36,386,177)

費用

運用会社報酬

8,932,685

管理会社報酬

3,586,849

預託費用

169,153

弁護士費用

63,261

監査報酬

12,133

役員報酬

5,251

その他費用

265,275

費用合計

13,034,607

払戻費用

1,716,508

純費用

11,318,099

源泉徴収税

142

投資証券保有者に帰属する純利益

(47,704,418)

投資明細表
2021年12月31日現在

損益通算後の金融資産評価額

枚数 / 額面	投資対象	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)
	先物取引 (a)		
	オーストラリア		
266	SPI 200 Futures March 2022	407,203	0.05
19	Australian 3 Year Bond Futures March 2022	490	0.00
		407,693	0.05
	カナダ		
424	Canadian 10 Year Bond Futures March 2022	1,048,648	0.11
336	S&P/TSX 60 Index Futures March 2022	1,027,602	0.11
		2,076,250	0.22
	フランス		
352	CAC40 10 EURO Futures January 2022	658,298	0.07
	ドイツ		
68	STOXX EURO ESG-X March 2022	49,976	0.01
79	DAX Index Futures March 2022	562,018	0.06
431	SWISS MARKET Index Futures March 2022	1,388,923	0.15
1,094	EURO STOXX 50 March 2022	1,358,419	0.15
		3,359,336	0.37
	香港		
281	HSCEI Futures January 2022	95,526	0.01
111	HANG SENG IDX Futures January 2022	114,452	0.01
		209,978	0.02
	イタリア		
201	FTSE/MIB Index Futures March 2022	785,800	0.09
	日本		
416	TOPIX Index Futures March 2022	359,077	0.04
	オランダ		
174	Amsterdam Index Futures January 2022	387,831	0.04
	シンガポール		
60	SGX NIFTY 50 January 2022	30,340	0.00
368	NIKKEI 225 (SGX) March 2022	390,838	0.04
309	MSCI SING Index ETS January 2022	62,960	0.01
		484,138	0.05
	南アフリカ		
134	FTSE JSE TOP 40 March 2022	123,875	0.01
	韓国		
17	Korea 3 Year Bond Future March 2022	1,624	0.00
289	KOSPI2 Index Futures March 2022	14,053	0.00
		15,677	0.00
	スウェーデン		
40	OMXS30 ESG Futures January 2022	40,447	0.01
1,501	OMXS30 Index Futures January 2022	1,603,190	0.17
		1,643,637	0.18

マンAHLスマート・レバレッジ戦略ファンド

枚数 / 額面	投資対象	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)		
	台湾				
194	FTSE TAIWAN INDEX January 2022	122,982	0.01		
	英国				
715	FTSE 100 Index Futures March 2022	984,880	0.11		
	米国				
479	S&P500 E-MINI Futures March 2022	1,778,197	0.19		
52	United States 5 Year Note (CBT) Bond Futures March 2022	22,437	0.00		
168	NASDAQ 100 E-MINI March 2022	338,975	0.04		
13	EMINI S&P500 ESG March 2022	50,220	0.01		
2,547	United States 10 Year Note (CBT) Bond Futures March 2022	3,159,356	0.34		
609	United States Long (CBT) Bond Futures March 2022	1,338,002	0.15		
615	United States ULTRA CBT Bond Futures March 2022	2,616,245	0.28		
		9,303,432	1.01		
	先物取引合計	20,922,884	2.27		
	国債				
	フランス				
50,000,000	France Treasury Bill BTF 0% 10/06/2022	57,097,390	6.20		
40,000,000	France Treasury Bill BTF 0% 13/07/2022	45,656,988	4.96		
35,000,000	France Treasury Bill BTF 0% 23/02/2022	39,844,787	4.33		
45,000,000	French Discount T-Bill 0% 15/06/2022	51,342,618	5.58		
50,000,000	French Discount T-Bill 0% 18/05/2022	57,007,552	6.19		
50,000,000	French Discount T-Bill 0% 23/02/2022	56,952,682	6.18		
50,000,000	French Discount T-Bill 0% 26/01/2022	56,888,998	6.18		
		364,791,015	39.62		
	国債合計	364,791,015	39.62		
外国為替先渡契約 ** (b)					
未収金	未払金	満期日	約件数	未実現利益 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)
€ 1,406	US\$1,580	2022/1/31	1	20	0.00
£1,485	US\$1,983	2022/1/31	2	27	0.00
US\$8,392,106	JPY952,651,640	2022/1/20	2	118,075	0.01
US\$52,434,457	JPY5,949,158,461	2022/1/31	14	759,846	0.08
				877,968	0.09
外国為替先渡契約に係る未実現利益合計				877,968	0.09
損益通算後の金融資産評価額合計				386,591,867	41.98

損益通算後の金融負債評価額

枚数 / 額面	投資対象	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)
	先物取引		
	オーストラリア		
778	Australian 10 Year Bond Futures March 2022	(176, 869)	(0. 02)
	ドイツ		
602	EURO-BTP Futures March 2022	(1, 828, 532)	(0. 20)
627	EURO-OAT Futures March 2022	(1, 669, 923)	(0. 18)
37	EURO-BOBL Futures March 2022	(46, 136)	(0. 00)
1, 051	EURO-BUND Futures March 2022	(2, 984, 132)	(0. 32)
59	EURO-BUXL 30 Year Bond Futures March 2022	(622, 481)	(0. 07)
		(7, 151, 204)	(0. 77)
	日本		
114	Japan 10 Year (OSE) Bond Futures March 2022	(406, 877)	(0. 04)
	シンガポール		
1, 144	FTSE CHINA A50 January 2022	(213, 013)	(0. 02)
	韓国		
417	KOREA 10 Year Bond Futures March 2022	(325, 030)	(0. 04)
	英国		
671	Long GILT Futures March 2022	(143, 667)	(0. 02)
	米国		
23	United States 2 Year Note (CBT) Bond Futures March 2022	(4, 133)	(0. 00)
	先物取引合計	(8, 420, 793)	(0. 91)

マンAHLスマート・レバレッジ戦略ファンド

外国為替先渡契約 **

未収金	未払金	満期日	約定件数	未実現損失 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)
JPY100, 877, 158, 201	US\$876, 991, 951	2022/1/31	3	(769, 211)	(0.08)
US\$8, 222, 938	AUD11, 545, 000	2022/1/20	1	(171, 345)	(0.02)
US\$383, 932, 971	€ 340, 043, 928	2022/1/20	2	(2, 918, 423)	(0.32)
US\$9, 937, 460	£7, 524, 007	2022/1/20	1	(252, 983)	(0.03)
US\$23	£18	2022/1/31	1	(1)	(0.00)
US\$7, 869, 550	SEK71, 670, 000	2022/1/20	1	(47, 714)	(0.00)
外国為替先渡契約に関わる未実現損失合計				(4, 159, 677)	(0.45)
損益通算後の金融負債評価額合計				(12, 580, 470)	(1.36)
損益通算後の金融資産評価額合計				386, 591, 867	41.98
損益通算後の金融負債評価額合計				(12, 580, 470)	(1.36)
その他の純資産				546, 743, 323	59.38
受益証券保有者に帰属する純資産				920, 754, 720	100.00

** 外国為替先渡契約はバンク・オブ・ニューヨーク・メロンを相手方としています。

(a) 証券所取引デリバティブ商品

(b) OTC 金融デリバティブ商品

公の株式取引所に上場されているまたは他の規制市場で取引される以外の譲渡可能証券
年末時点で保有するすべての他の投資は公の株式取引所に上場されている譲渡可能証券

<補足情報>

当ファンド（マンAHLスマート・レバレッジ戦略ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネープール・マザーファンド」の決算日（2022年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2023年4月12日）現在におけるダイワ・マネープール・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネープール・マザーファンドの主要な売買銘柄

2022年10月13日～2023年4月12日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2023年4月12日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネープール・マザーファンド

運用報告書 第4期 (決算日 2022年12月9日)

(作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日)

ダイワ・マネープール・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

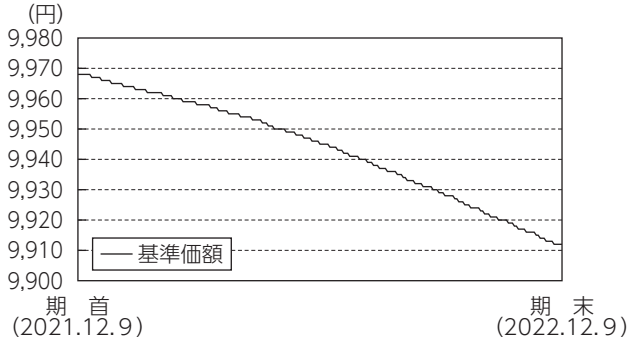
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公社債 組入比率
	円	騰落率	
(期首)2021年12月9日	9,968	%	%
12月末	9,966	△0.0	-
2022年1月1日	9,963	△0.1	-
2月末	9,960	△0.1	-
3月末	9,956	△0.1	-
4月末	9,952	△0.2	-
5月末	9,948	△0.2	-
6月末	9,942	△0.3	-
7月末	9,937	△0.3	-
8月末	9,931	△0.4	-
9月末	9,925	△0.4	-
10月末	9,919	△0.5	-
11月末	9,913	△0.6	-
(期末)2022年12月9日	9,912	△0.6	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,968円 期末：9,912円 騰落率：△0.6%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移し

ました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 1,041	% 100.0
投資信託財産総額	1,041	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネープール・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,041,132円
コール・ローン等	1,041,132
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A - B)	1,041,132
元本	1,050,424
次期繰越損益金	△ 9,292
(D) 受益権総口数	1,050,424口
1万口当り基準価額(C/D)	9,912円

* 期首における元本額は1,000,000円、当作成期間中における追加設定元本額は50,424円、同解約元本額は0円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
マンAHLスマート・レパレッジ戦略ファンド 1,050,424円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,912円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は9,292円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△5,695円
受取利息	2
支払利息	△5,697
(B) 当期損益金(A)	△5,695
(C) 前期繰越損益金	△3,173
(D) 追加信託差損益金	△ 424
(E) 合計(B + C + D)	△9,292
次期繰越損益金(E)	△9,292

(注) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。